

石西礁湖サンゴ礁基金について

石西礁湖サンゴ礁基金運営事務局

① サンゴサポーターの委嘱

石西礁湖協議会の活動とサンゴ礁基金についての普及啓発、広報をお願いするサンゴサポーターについては、現在加藤登紀子さんをお願いしており、そのほかにも候補者の名前が挙がっていますが、決定には至っていません。

このたび、下記のとおり、サンゴサポーター候補者として『きいやま商店』が推薦されました。運営委員会で協議し、昨年12月28日付で惠代表が協議会メーリングリストで提案したところ、賛同のご意見が寄せられ、異論はありませんでした。

そこで、惠代表と宮本委員が『きいやま商店』の代理人と交渉し、合意が得られたので、『きいやま商店』にサンゴサポーターを委嘱することを提案します。

(1) サンゴサポーター候補：

八重山の地元のミュージシャン『きいやま商店』
(石垣島出身の従兄弟3人によるユニット)

(2) 推薦者：

水谷哲也さん（現在市内飲食店経営。以前広告代理店勤務。）

(3) 提案理由：

- ・ 八重山のサンゴ礁の状況、とりわけ、石西礁湖での様子と、このサンゴ礁保全をしている人々がいること、さらに、応援の仕方として、石西礁湖サンゴ礁基金があることを、広くアピールするための、媒体となってくれるサンゴサポーターが増えることは大変好ましいことと考えます。
- ・ 『きいやま商店』は地元と本土の両方で活動していて、地元の人々に親しまれ支え続けてもらえる存在であって、また、本土の方たちに地元の事情をお伝えすることが期待できます。
- ・ こうした点から、サンゴサポーターとして最適であり、サンゴサポーター自身と基金や協議会の相互がメリットを得る：WIN-WIN の 関係となれば幸いです。

[参考：石西礁湖自然再生協議会寄付金等細則]

第8条 協議会は、本基金の広報、寄付を呼びかけるため、著名人や団体等を支援者（サンゴサポーター）とすることができる。

■サンゴサポーター きいやま商店コメント

僕ら3人は石垣島で生まれ育ち、幼い頃から島を囲む美しいサンゴ礁を見て来た。

丘に登れば目の前の海に広がるサンゴ礁の鮮やかな色と、白く眩しく光るリーフの波を見て楽しみ、夏になれば家族で海へ行き、サンゴからひょっこり顔を出す熱帯魚を見て遊んだものだ。

しかし、今問題になっている海水温上昇によるサンゴ白化や、オニヒトデや人為的な被害で、小さい頃から僕ら3人の心を癒してくれたサンゴが死んでいっている。こんなに悲しい事はない。

これから産まれてくる子供達、そして100年後200年後、いや、ずーっとずーっと僕らが見た美しいサンゴを見せてあげたい。

そこで僕らもサンゴサポーターとして全国にこの現状を伝えていき、美しいサンゴを守っていくために、少しでも協力できたらと思います。

きいやま商店 Profile

石垣島出身の従兄弟・兄弟、崎枝一族で結成された『エンタメユニット』

3人とも現在別々のバンドでボーカルをつとめる 超目立ちたがり屋一族だ。

全国のライブハウスや沖縄料理店で精力的にライブをこなす傍ら、レコーディングを敢行し、2010年11月に待望の1stアルバム「さよならの夏」を全国リリース！

2011年9月には、待望の2ndアルバム「沖縄ロックンロール」全国リリースも決定している。

石垣島の方言や三線とギターの音色で、楽しくあったかい彼らの世界へ連れて行ってくれる。

こんな時だからこそ、彼らの歌が必要だ！

とにかく「きいやま商店」のライブは 一見の価値あり！！

ちなみに3人のばあちゃんが 石垣島で営む店が『きいやま商店』だ！



official web site (<http://kiiyama.ti-da.net/>) より

② 平成 22 年度決算報告及び平成 23 年度予算執行状況（

1 寄付

平成 22 年度寄付金額合計

現金・口座送金	24 件	439,262 円
オンライン	17 件	276,110 円
計	41 件	715,372 円

平成 23 年度寄付金額合計（平成 23 年末現在）

現金・口座送金	20 件	563,437 円
オンライン	17 件	217,2600 円
計	37 件	780,697 円

（平成 22 年度からの累計 217 件 2,305,398 円）

GiveOne サイトでの継続寄付、事業者からの売上の一部等の寄付のほか、続けて寄付してくださる個人もおられ、一定額の寄付が見込めるようになっている。

このほか、平成 22 年度には地元企業団体から高額寄付があり、平成 23 年度には、CSR（社会的貢献）としての社員募金の寄付先として基金を選定してくださった企業からの寄付がありました。

しかし、年間寄付総額は 100 万円に満たず、事業拡大のため、積極的な寄付集めをすることが必要だと考えています。

自然再生事業への理解を広げるためにも個人寄付の拡大を目指する必要がありますが、基金の安定的な運営のためには、サンゴサポーターとなっただけの企業、継続的な寄付をしていただける企業等を募っていくことが課題となると考えています。

平成22年度決算書

(収入)

科 目	予算額	決算額	差 引	摘 要
前年度繰越	753,673	753,673	0	
寄付金	1,200,000	715,372	484,628	
現金、口座振り込み	900,000	439,262	460,738	
オンライン	300,000	276,110	23,890	GiveOneサイト経由
雑収入	1,000	26	974	
計	1,954,673	1,469,071	485,602	

(支出)

科 目	予算額	決算額	差 引	摘 要
助成費	1,400,000	763,235	636,765	
運営費	170,000	52,610	117,390	
備消耗品費	60,000	1,549	58,451	送付用封筒、事務用品
通信費	30,000	7,274	22,726	礼状、領収書送付
手数料等	60,000	43,667	16,333	GiveOne手数料等
雑費	20,000	120	19,880	礼状コピー代
広報費	130,000	0	130,000	
印刷費	100,000	0	100,000	リーフレット等印刷
雑費	30,000	0	30,000	
予備費	254,673	0	254,673	
計	1,954,673	815,845	1,138,828	

	予算額	決算額	差 引
収入計	1,954,673	1,469,071	485,602
支出計	1,954,673	815,845	1,138,828
残額(次年度繰越)	0	653,226	—

平成23年度予算書（付:23年末現在執行額）

（収入）

科 目	予算額	（暫定予算）	収入済	摘 要
前年度繰越	653,226	600,000	653,226	
寄付金	1,000,000	399,000	780,697	
現金、口座振り込み	700,000	249,000	563,437	
オンライン	300,000	150,000	217,260	GiveOneサイト経由
雑収入	1,000	1,000	51	
計	1,654,226	1,000,000	1,433,974	

（支出）

科 目	予算額	（暫定予算）	支出済	摘 要
助成費	1,200,000	600,000	745,000	
運営費	125,000	75,000	50,613	
備消耗品費	25,000	25,000	1,495	送付用封筒、事務用品
通信費	30,000	20,000	11,870	礼状、領収書送付
手数料等	60,000	25,000	34,378	GiveOne手数料等
雑費	10,000	5,000	2,870	礼状コピー代
広報費	105,000	105,000	79,800	
印刷費	100,000	100,000	79,800	リーフレット等印刷
雑費	5,000	5,000	0	
予備費	224,226	220,000	0	
計	1,654,226	1,000,000	875,413	

	予算額	執行済額	差 引
収入計	1,654,226	1,433,974	220,252
支出計	1,654,226	875,413	778,813
残額(次期繰越)	0	558,561	—

監査報告書

石西礁湖自然再生協議会

会長 土屋 誠 殿

石西礁湖自然再生協議会寄付金等細則第15条の規定に基づき、平成22年度(平成22年4月1日から平成23年3月31日まで)及び平成23年度(平成23年4月1日から平成23年12月31日まで)の石西礁湖サンゴ礁基金の会計の運営状況について、監査を行いましたので、次のとおり報告します。

1 監査方法の概要

会計監査のため、帳簿および領収書綴り、預金通帳等をそれぞれ照合し、必要に応じて基金事務局に説明を求めて調査しました。

2 監査結果

会計帳簿の記載は正確で、関係書類ならびに会計処理はすべて適正であり、平成22年度決算書及び平成23年度予算書中23年末現在執行額に相違がないことを認めます。

以 上

平成24年1月20日

石西礁湖サンゴ礁基金

監査員 入嵩西 正治

監査員 大堀 健司



③ 平成 22 年度、23 年度助成事業についての報告、承認

石西礁湖自然再生協議会メンバーの取り組みに対し助成を行いました。

<平成 22 年度助成事業>

(1) 竹富町ダイビング組合野口定松さんへの助成

前回協議会で報告済み。

(2) 八重山ダイビング協会への助成

活動名 : 八重山海域におけるオニヒトデの駆除

助成金額 : 150 千円 ダイバー人件費・タンク代、船燃料費等

実績 : 平成 22 年 8 月 4 日 御神崎北海域で実施 9 人参加 (3 ダイブ)

(3) コーラルウォッチ実行委員会への助成

活動名 : コーラルウォッチプロジェクト

「サンゴ見守り隊 (コーラルウォッチャーズ)」

目的 : 継続的なサンゴの観察を通じ、サンゴ礁を取り巻く自然環境の状態について理解を深めるとともに、自分達にできることを考え、環境問題や自然再生活動の関係が広がるようになることを目的とする。

助成金額 : 53,235 円 (コーラルウォッチチャート (色見本) 等)

実績 : 石垣島周辺で 5 回実施、小学生など延べ 116 人参加

平成 22 年 9 月 25 日 : 白保 しらほ子供クラブのメンバー 10 名

平成 22 年 10 月 7 日 : 富野 一般参加者 4 名

平成 22 年 10 月 8 日 : 真栄里海岸/多田浜 一般参加者 6 名

平成 22 年 11 月 8 日 : 真栄里海岸/多田浜 八島小学校 5 年生 48 人

平成 23 年 3 月 8 日 : 真栄里海岸/多田浜 八島小学校 5 年生 48 人

(4) 陸域対策グループ千川明さんへの助成

活動名 : サトウキビ株出し栽培への農法転換推進

目的 : サトウキビ夏植え栽培を株出し栽培に変えるための支援

活動概要 : 株出し栽培を希望する農家に対し株出し管理機の農作業委託支援 (委託料 10a 当たり 3,500 円) を行うとともに、周辺農家等に農家経営上の利点も訴えて、株出しの推進を図る

助成金額 : 410 千円 (株出し管理機作業委託料、表示看板作製費等)

実績 : 平成 22 年 8 月から 12 月 実施農家の選定、説明

平成 22 年 12 月から 23 年 3 月 株出し実施

当初予定 10 ヘクタール、実施 11 ヘクタール (14 農家、16 圃場)

2011年度 オニヒトデ駆除総数286,020匹 (昨年総駆除数99,859匹の286.4%)



2011年 海域別駆除数明細

駆除海域		駆除数	日数	駆除者	ダイブ数	駆除効率
石垣島北海岸	石垣島伊原間沖	6,547	15	26	54	121.2
	石垣島野底前	450	1	3		
	石垣島伊土名沖	18,286	7	86	139	131.6
	石垣島浦底湾	1,350	2	4	8	106.3
	石垣島米原Wリーフ	123,372	82	575	1,185	103.8
	石垣島米原キャンプ場沖	520	7	22	15	34.7
	石垣島荒川下	4,091	4	29	58	70.5
	石垣島川平湾水路	968	1	8	16	60.5
	石垣島川平石崎	6,452	3	31	60	107.5
	石垣島底地ビーチ	180	4	7	7	25.7
	石垣島底地沖	16				
	石垣島崎枝沖	1,307	5	29	37	35.3
	石垣島御神崎	56,544	48	337	659	85.8
	石垣島屋良部崎	6,633	8	73	91	72.9
	石垣島大崎	15,549	27	234	397	39.2
石垣島名蔵湾	13,878	20	153	261	53.2	
小計	256,143	234	1,617	2,987	89.5	
その他海域	石垣島カナラグチ	4,246	6	244	412	10.3
	竹富島南ユイサーグチ	4,706	24	205	526	8.9
	黒島ケングチ	246	2	70	140	1.8
	鳩間島西・西表島インダビシ	567	3	99	198	2.9
	鳩間島西	1,618	6	95	304	5.3
	西表島北	18,223	16	145	411	42.1
	浜島東	271	5	30	45	4.55
小計	29,877	62	888	2,036	14.9	
合計	286,020	296	2,505	5,023	56.9	

2011年 組織・海域・月別駆除データ

八重山ダイビング協会(沖縄県緊急サンゴ礁保全事業～3月)

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
石垣島伊原間					3,120						1,200		4,320
石垣島伊土名沖		400											400
石垣島米原Wリーフ		3,701		8,105	5,934	1,911	68		590	630	700		21,639
石垣島米原キャンプ場沖								50					50
石垣島荒川下				10									10
石垣島川平石崎		30	38		36		84	15	165				368
石垣島底地沖									16				16
石垣島御神崎	1,481	9,999	1,655	91	2,033		976	306	114	20	129		16,804
石垣島屋良部崎							21						21
石垣島大崎			2,788							60			2,848
石垣島名蔵湾										10		150	160
浜島東					30		75	6	24				135
計	1,481	14,130	4,481	8,206	11,153	1,911	1,224	377	909	720	2,029	150	46,771

石垣島マリンレジャー協同組合(市雇用創出事業4月～・県緊急サンゴ礁保全事業～4月環境省)

石垣島伊土名沖	809			7,330	3,720	4,651		533					17,043
石垣島米原Wリーフ				1,660	3,166	16,905	27,664	6,644	6,444	11,069	12,331	14,443	100,326
石垣島荒川下					827				3,254				4,081
石垣島川平湾水路					968								968
石垣島川平石崎				4,292				1,691	101				6,084
石垣島底地湾											100		100
石垣島崎枝沖						108	485	316	398				1,307
石垣島御神崎				11,582	5,555	8,412	8,173	4,233	821		314	507	39,597
石垣島屋良部崎					5,633	783	155		41				6,612
石垣島大崎				3,156	810	50		141	616	1,571	2,031	4,209	12,584
石垣島名蔵湾					195				897	4,083	6,683	1,860	13,718
竹富島南ユイサーグチ	1,485	1,097	389										2,971
浜島東				14	10	12		64	36			-	136
計	2,294	1,097	389	28,034	20,884	30,921	36,477	13,622	12,608	16,723	21,459	21,019	205,527

竹富町ダイビング組合(沖縄県緊急サンゴ礁保全事業)

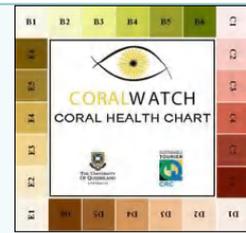
西表島北	55	3	3,395	9,203	2,739	994	87	106	123	640	303	368	18,016
------	----	---	-------	-------	-------	-----	----	-----	-----	-----	-----	-----	--------

八重山漁協(石垣市環境生態系保全活動支援事業・6月～環境省)

石垣島カナラグチ	284		3,915							47	-		4,246
竹富島南ユイサーグチ	194		11		179	163	171	322	240	144	-	311	1,735
黒島ケングチ										212	34		246
鳩間島西・西表島インダビシ			318							215	34		567
鳩間島西										510	106		616
計	478		4,244		179	163	171	322	240	1,128	174	311	7,410

その他複数組織・個人ボランティア含む(鳩間島西一沖縄県緊急サンゴ礁保全事業)

石垣島伊原間沖					397	250	600	950		30			2,227
石垣島野底前											450		450
石垣島伊土名沖								167	676				843
石垣島浦底湾										400	450	500	1,350
石垣島米原Wリーフ	98					374			600	280	55		1,407
石垣島米原キャンプ場沖				211	35	40		184					470
石垣島底地ビーチ					80								80
石垣島御神崎		113								30			143
石垣島大崎		117											117
鳩間島西			99			370	49	484					1,002
西表島北						200				7			207
計	98	230	99	211	512	1,234	649	1,785	1,283	740	955	500	8,296
合計	4,406	15,460	12,608	45,654	35,467	35,223	38,608	16,212	15,163	19,951	24,920	22,348	286,020



平成22年度 石西礁湖自然再生広報啓発活動報告

「コーラルウォッチプロジェクト」
サンゴ見守り隊(コーラルウォッチャーズ)

コーラルウォッチプロジェクト実行委員会

1

目的：
継続的なサンゴの観察を通じ、サンゴ礁を取り巻く自然環境の状況について理解を深め、自分たちにできることを考え、環境問題や自然再生活動に前向きにかかわるようになることを目的とする。

目標：
八重山諸島在住者(300名程度)を対象とし、周辺海域における白化前、白化後のサンゴの生育状況を比較し、目の前の自然環境の状況を理解し、石西礁湖の自然再生について関心を高めて貰うことを目標とする。

2

実施場所及び参加人数について(平成22年度)

場所	日付	人数	募集方法
石垣島	白保	9月25日	10 リーダー経由 (しらほ子供クラブ)
		10月8日	6 事務局から
	真栄里 (多田浜)	11月8日	48 事務局 (八島小学校5年生)
		3月5日	50 事務局
		3月8日	48 事務局 (八島小学校5年生)
米原(富野)	10月7日	4 事務局から	
小浜	東細崎海岸	10月23日	天候不順により中止 リーダー経由
黒島	仲本海岸	12月6日	天候不順により中止 (黒島研究所にて講義へ変更) 事務局から黒島中学校

→平成23年度は、
しらほ子どもクラブと八島小学校1年生PTA活動を通して実施

3

八島小学校観察風景



4

富野観察風景



5

コーラルウォッチの方法



サンゴの塊を見つける

①色の一番薄い部分を記録する。



白化したかたまり状サンゴ
カラーコード:B1
サンゴのタイプ:B0

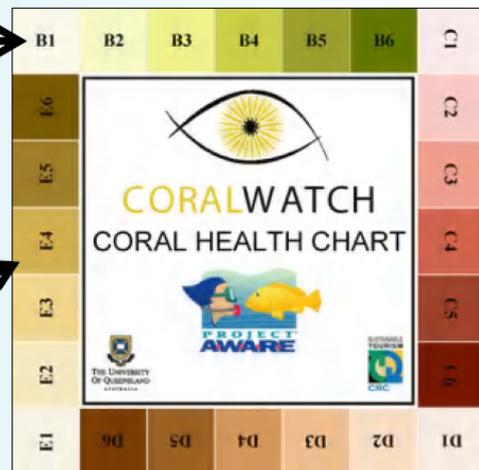
サンゴ No.	カラーコード		サンゴのタイプ
	色のうすい部分	色の濃い部分	
例	D2	E5	えだ かり サージュ やわらかい
1	○	●	えだ かり サージュ やわらかい
2	○	●	えだ かり サージュ やわらかい
3	○	●	えだ かり サージュ やわらかい

②色の一番濃い部分を記録する。



健康なかたまり状サンゴ
カラーコード:E4
サンゴのタイプ:B0

サンゴ No.	カラーコード		サンゴのタイプ
	色のうすい部分	色の濃い部分	
例	D2	E5	えだ かり サージュ やわらかい
1	○	●	えだ かり サージュ やわらかい
2	○	●	えだ かり サージュ やわらかい
3	○	●	えだ かり サージュ やわらかい



6

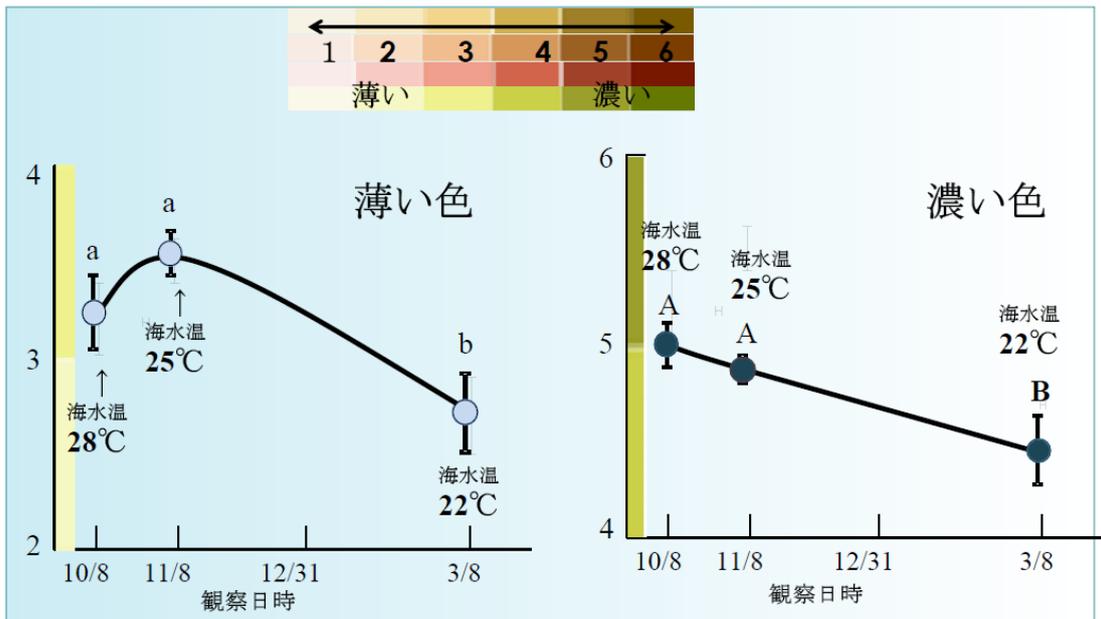


図 . 真栄里海岸(多田浜)におけるサンゴ色見本カードの数値変化 (平成22年度結果)

*海水温のデータは、環境省石西礁湖常時モニタリングデータ引用

7

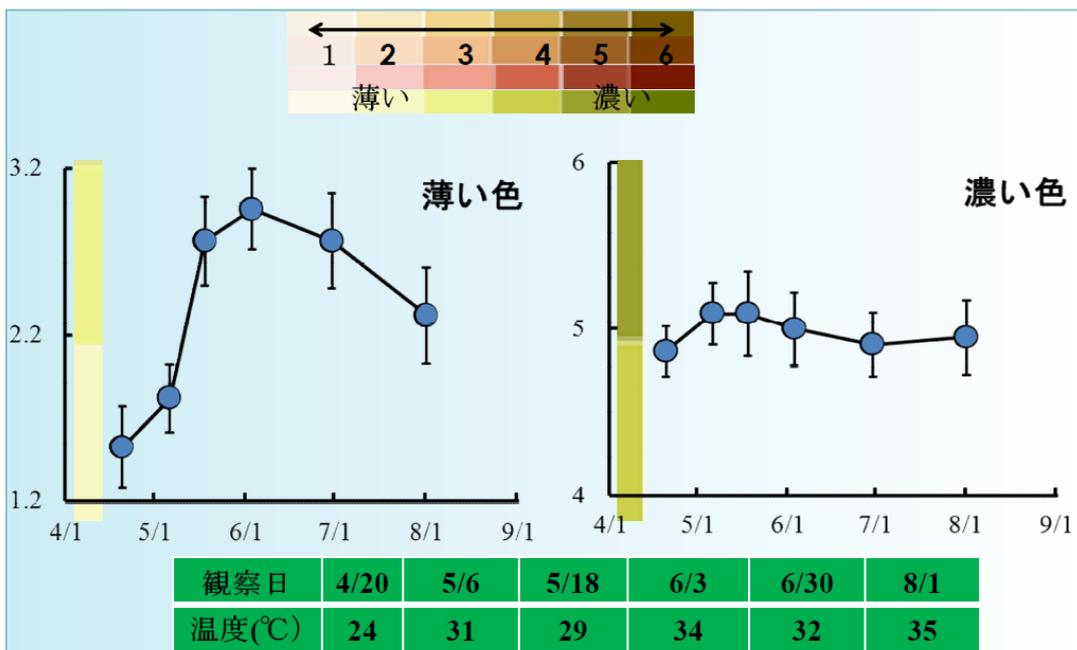
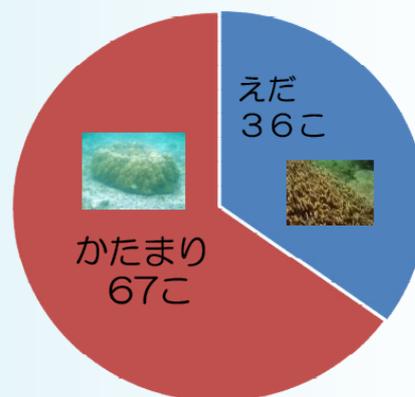
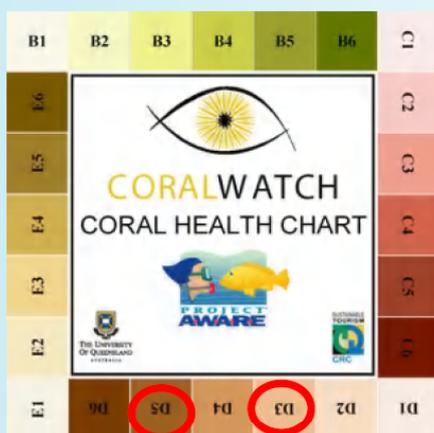


図 . 富野小学校におけるサンゴ色見本カードの数値変化 (平成23年度結果)

8

平成23年度の活動について<八島小学校1年生の活動>

※結果についてこのような形で渡しました。



みんなが見つけた
いちばん、こい色はD5でした。
いちばん、うすい色はD3でした。

みんなが見つけたサンゴの形で
いちばん多かったもの

9

今後の展開に向けて

● 新しいリーダーの参加

→リーダー発案による活動を主体としているが、実施にむけての動きが厳しいのが現状。

→現時点では事務局主導で行っている。

実施体制の確立が必要。リーダーへのサポート体制の充実。

● 観察者が興味を持ってもらう企画へ

※コーラルウォッチだけでは飽きてしまう。*

→海へのふれあいを通して

(スノーケル教室などとの組み合わせ)

→学校への働きかけが有効

→長期の取り組みへ繋げること

協議会構成委員の積極的な参加、お待ちしております。

10

⑤ 平成24年度予算

平成24年度予算書

(収入)

科 目	予算額	前年度	増(△)減	摘 要
前年度繰越	500,000	653,226	△ 153,226	
寄付金	1,199,000	1,000,000	199,000	
現金、口座振り込み	799,000	700,000	99,000	
オンライン	400,000	300,000	100,000	GiveOneサイト経由
雑収入	1,000	1,000	0	
			0	
計	1,700,000	1,654,226	45,774	

(支出)

科 目	予算額	前年度	増(△)減	摘 要
事業費	1,200,000	1,200,000	0	
運営費	280,000	230,000	50,000	
備消耗品費	50,000	25,000	25,000	送付用封筒、事務用品
印刷費	100,000	100,000	0	リーフレット等印刷
通信費	30,000	30,000	0	礼状、領収書送付
手数料等	80,000	60,000	20,000	GiveOne手数料等
雑費	20,000	15,000	5,000	礼状コピー代
予備費	220,000	224,226	△ 4,226	
計	1,700,000	1,654,226	45,774	

⑥ 今後の基金の運営について

石西礁湖サンゴ礁基金は、平成21年6月に実質的な活動を開始し、平成22年度からは寄せられた寄付を活用した事業を行っています。

しかし、年間収入額は100万円に満たず、寄付金等の収入増加と事業拡大が課題となります。将来は、事務所と専任スタッフを持ち、会員制を採って個人・企業の継続的な支持のもとに活動を行うことが必要だと思われます。

一方現状は、運営委員会の意見交換、意思決定はMLを活用して行っていますが、一堂に会する機会はこの間ほとんどなく、また、専任スタッフがない現状では、活動の拡大も困難です。

こうした状態を打開し、少しでもあるべき姿に近づけるため、当面下記事項を進めたいと考えています。

1 運営委員会の強化

地元在住者で定期的な話し合いを持ち（島外の方からはメールでご意見をいただき）、各メンバーが行動するようにするのが、基金が動き出すための糸口となり、今後の活動の基調ともなるべきだと考えます。

2 専任のスタッフと事務所設置の検討

専任のスタッフには賃金または報酬の支払い等が必要であり、将来の課題として検討します。

事務所は、活動拠点として必要だと思われます。石垣市が「NPOと行政とのパートナーシップ事業」の中で「NPOプラザ」を設置し、NPOが自前の事務所を持てるようになるまで、机とロッカーなどを貸し、無線ランなどのサービスを提供する制度を作っているので（使用料月額5000円）、その活用も考えます。

3 NPO法人化

法的安定性、社会的信用の増大のほか、寄付者に、したがって寄付集めにも有利な税制の適用を受けるため、検討します。年度報告などの事務負担、地方税（住民税の均等割）の負担は増えますが、寄付税制が改正され寄付者に有利となった（所得控除→税額控除）ので、早い時期に行うべきだと考えます（認定を受けるためには、1年以上の実績が必要）。